SOTEC

WinBook
WD シリーズ

セットアップガイド

このたびは、ソーテック WinBook WDシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では、WinBook WDシリーズのご使用にあたって注意していただきたいことや、セットアップおよびリカバリを説明しています。
WinBook WDシリーズを正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。
読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。

本製品の使い方については「ユーザーズガイド」(PDFファイル)を参照してください。「ユーザーズガイド」は下記Webページから入手できます。
http://www.sotec.co.jp/support/

ご使用の前に「安全上のご注意」(☞2ページ)を必ずお読みください。

W i n B o o k

本書の読みかた

マークについて

本書では次のマークが使われています。

警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
メモ	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
チェック	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	その単語の詳細が別ページに紹介、または説明しています。本文とあわせて参照してください。
	参照していただきたい電子マニュアル（画面で見るマニュアル）の項目を紹介しています。

※1重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

モデル名の表記ルール

OSの区別による表記

XP Homeモデル

Windows XP Home Edition をインストールしているモデル

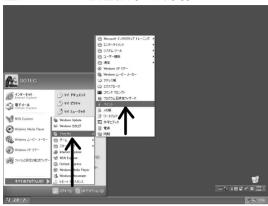
XP Proモデル

Windows XP Professional をインストールしているモデル

チェック

・本書中に出てくる画面およびイラストは、モデルまたはご使用の環境により実物と異なる場合があります。
・本書中に出てくるホームページの内容およびアドレス、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

操作の表記ルール

メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。
たとえば、上画面のように、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、
［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ペイント］
と表記しています。

複数のキーを同時に押す操作

※製品によりキーボードの形状は異なることがあります。

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「＋」を使って省略しています。
たとえば、上図のように、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

と表記しています。

キー表記とキーボードの対応表

キーボード上の各キーは、次のように表記しています。

本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー
Esc		Enter		End		変換	
Tab		BackSpace		↑↓←→		半角/全角	
Ctrl		Insert		PageUp		NumLk	
Shift		Delete		PageDown		⊞	
Alt		Home		F1 F2…	…	▤	
Space							

Windows XPの表記ルール

カテゴリ表示モードの画面で説明しています

Windows XPには、カテゴリ表示モードと呼ばれる表示方法と、Windows2000など従来の表示イメージにあわせたクラシック表示モードと呼ばれる表示方法があります。本書では、カテゴリ表示モードの画面で説明しています。

Windows XP Home Editionの画面で説明しています

Windows XPには、Windows XP ProfessionalとWindows XP Home Editionの2種類のバージョンがあります。本書では、Windows XP Home Editionの画面で説明しています。

Windows XPまたはWindowsと省略して表記しています

本書では、Microsoft Windows XP Professional日本語版およびMicrosoft Windows XP Home Edition 日本語版を、Windows XPまたはWindowsと省略して表記しています。

安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⃠記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」という意味です。

● 記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

⚠ 警告（本機・ACアダプタ）

水場使用禁止

●洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●電源が 100 ～ 240V の範囲内であることを確認して使用してください。
100 ～ 240V を超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

●絶対に分解したり修理・改造をしないでください。
火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。

電源プラグを抜く

● AC アダプタから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。
そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。
（発熱することは異常ではありません。）

⚠ 注意（本機・ACアダプタ）

電源プラグを抜く

●電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
故障の原因となります。

振動・衝撃を与えない

●振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。
故障による火災・感電の原因となります。

異物を挟んで閉じない

●ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。
異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じますと、ディスプレイを破損する恐れがあります。

●本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。
ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

電源プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
漏電・火災の原因となります。

●熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、使用周囲温度（10 ～ 35℃）/ 使用周囲湿度（20 ～ 80% ただし結露しないこと）を超える範囲では使用・保存しないでください。故障の原因となります。

●タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。
故障の原因となります。

●タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。
必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

●雷が近いときは、すみやかに電源を OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
また、モジュラーケーブルや LAN ケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。
故障の原因となります。

●電源ケーブルの上にものをのせないでください。
電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

⚠ 警告（バッテリ）

●付属のバッテリ以外は使用しないでください。
また、付属のバッテリを本製品以外に使用しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

●バッテリを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

●バッテリに強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

●バッテリから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

●バッテリが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

●バッテリ充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

●バッテリは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解・改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

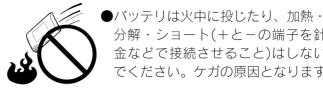
⚠ 注意（バッテリ）

●バッテリから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

●バッテリを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。バッテリの破損や性能・寿命を低下させる原因となります。

●バッテリを使う前に、サビ・異臭・発熱・その他異常と思われるときは、使用しないでください。ソーテックカスタマセンタにお問い合わせください。

加熱・分解・ショートしない

●バッテリは火中に投じたり、加熱・分解・ショート(＋と－の端子を針金などで接続させること)はしないでください。ケガの原因となります。

●バッテリを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

●バッテリは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

⚠ 取り扱い上の注意

たたいたり引っかいたりしない

●液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。
破損する恐れがあります。

●本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。

動作中に移動させない

●ハードディスクが動作中のときは移動させないでください。
故障の原因となります。

●本製品の付属物は大切に保存してください。

●ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイは非点灯、常時点灯などの画素が存在することがありますが故障ではありません。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

法規について

PCリサイクルについて

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。
詳細は当社Webサイト(http://www.sotec.co.jp/)を参照してください。

PCグリーンラベル制度について

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)により策定された「PCグリーンラベル制度」に合格致しました。
「PCグリーンラベル制度」とは、お客様が環境に配慮したパソコンをご購入になる際、商品選択を容易にするために、基準をクリアしたパソコンに「PCグリーンラベルロゴマーク」を表示する制度で、以下の3つのコンセプトから構成されています。

- 環境(含3R※1)に配慮した設計・製造がなされている
- 使用済み後も、引取り・リユース/リサイクル・適正処理がなされている
- 環境に関する適切な情報開示がなされている

※1　3R=リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)

グリーン購入ネットワーク(GPN)について

本製品はグリーン購入ネットワーク(GPN)に適合しています。

輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。
必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。
輸出の許可の要否については、ご購入頂いた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

モデムについて

本製品を日本国内で使用する場合は、国または地域の選択を「日本」に設定してご使用ください。「日本」以外の設定がされている場合、電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。なお、ご購入時には「日本」に設定されておりますので、そのままご使用ください。

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。
この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとした、オフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。
このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
(社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

「SOTEC電子マニュアル」について

SOTEC電子マニュアルは、本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows XPやインターネットの便利な使いかたを、図解付きでわかりやすく紹介しています。

SOTEC電子マニュアルの起動方法

SOTEC電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

デスクトップ上にあるSOTEC電子マニュアルのアイコンをダブルクリックします。

メニューが表示されます。

目的に応じたメニュータイトルをクリックします。

サブメニューが表示されます。

3 サブメニューの中からタイトルをクリックします。

目的のコンテンツが表示されます。

コンテンツ画面の説明

①クリックすると、ほかのメニューに移動できます。
②クリックすると、ほかの情報に移動できます。

動作環境

SOTEC電子マニュアルは以下の動作環境で使用できます。

O S	ブラウザ
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	Internet Explorer 6.0以降 (※1)

※1:JavaScriptおよびActive Xは無効にしないでください。

注意事項

・SOTEC電子マニュアルは、株式会社ソーテックの著作物です。
・SOTEC電子マニュアルは予告なしに変更される場合があります。また、SOTEC電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
・SOTEC電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
・SOTEC電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にSOTEC電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。

置き場所を決める

WinBookが手元に届いたら、まず、設置場所を決めてください。

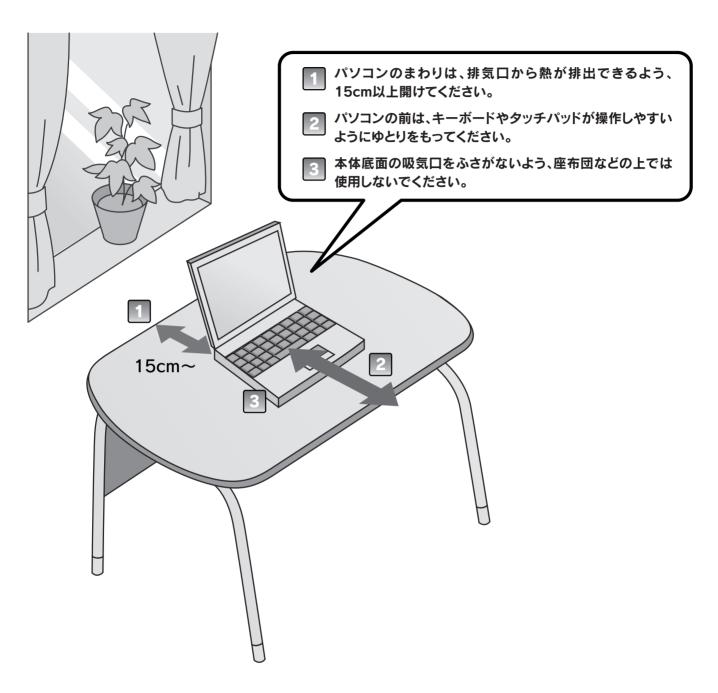
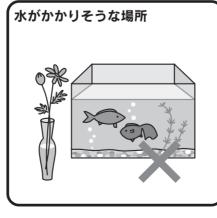
1. パソコンのまわりは、排気口から熱が排出できるよう、15cm以上開けてください。
2. パソコンの前は、キーボードやタッチパッドが操作しやすいようにゆとりをもってください。
3. 本体底面の吸気口をふさがないよう、座布団などの上では使用しないでください。

15cm～

■置いてはいけない場所

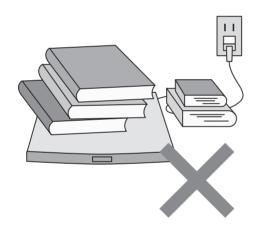
直射日光のあたる場所、ストーブなど熱源の近く

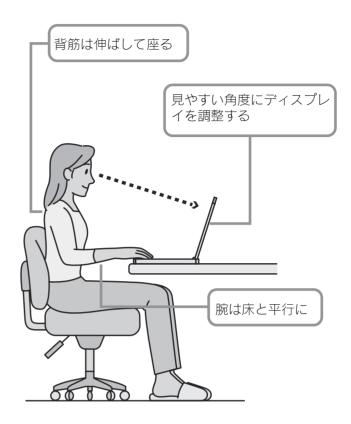
水がかかりそうな場所

不安定な場所、物がぶつかりそうな場所

■ディスプレイの角度調整について

ディスプレイは、見やすい角度に調整できます。

■管理について

本体および電源ケーブルの上に重いものをのせたり、通風孔を塞いだりしないでください。

■正しい姿勢について

次のように正しい姿勢で、パソコンの前に座ってください。

接続する

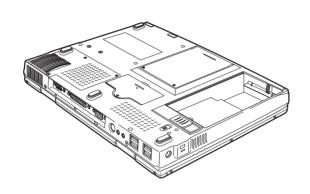
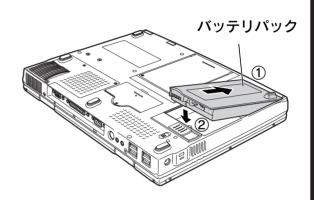
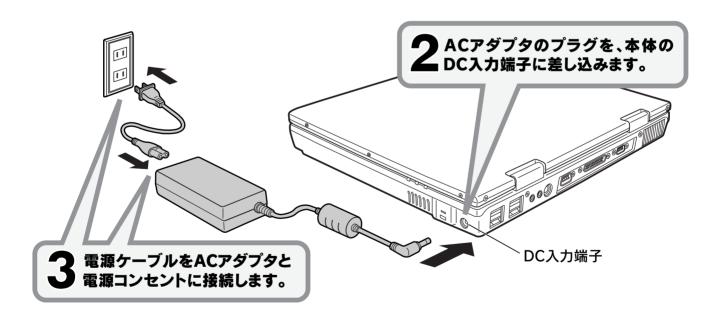
必要な機器を接続しましょう。
スキャナやプリンタなど、すでに周辺機器をお持ちの場合でも、Windows XPのセットアップが終了するまでは接続しないでください。

1 バッテリパックを取り付けます。

1 ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返して、静かに置きます。

2 バッテリパックを矢印の方向へ差し込んで(①)、本体に取り付けます(②)。

2 ACアダプタのプラグを、本体のDC入力端子に差し込みます。

3 電源ケーブルをACアダプタと電源コンセントに接続します。

Windows XPのセットアップ

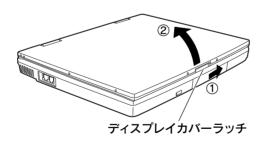
必要な機器の接続が終われば、本機にWindows XPをセットアップしましょう。
Windows XPのセットアップが終われば、本機のセットアップは完了です。

セットアップの準備をする

・セットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル（マウスポインタ）の矢印が⌛になっているときは、キーボードのキーやタッチパッドのボタンを何度も押さないでください。

操作の途中で電源を切らない！
セットアップには、少し時間がかかります。
セットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

分からないことがあったら・・・
セットアップの途中で分からないことがあれば、ヘルプで調べることができます。?をクリックするか[F1]キーを押すとヘルプを参照できます。

1 手前のディスプレイカバーラッチを矢印の方向へスライドして(①)、見やすい角度までディスプレイカバーを開きます(②)。

2 電源スイッチを押します。

パソコンの電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順3の画面が表示されるまで、お待ちください。

3 ［次へ］ボタンにマウスカーソルの矢印を合わせて、左クリックします。

メモ

・タッチパッドを一度も使ったことがない方は、「タッチパッドの使いかた」（☞39ページ）を参照してください。

使用許諾契約に同意する

使用許諾契約に同意します。同意を拒否すると、Windowsのセットアップが終了してしまいます。

1 使用許諾契約書を確認します。

2 同意したら、［同意します］の○を左クリックして、◉に変えます。

3 ［次へ］ボタンを左クリックします。

自動更新を設定する

Windows XPのセキュリティ、重要な更新、Service Pack等を自動的に更新するように設定します。

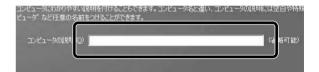
1 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」の◯を左クリックして◉に変えます。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

本機を設定する

コンピュータに名前をつけます。例として、「SOTEC-PC」と入力します。

1 キーボードから、S O T E C − P Cの順にキーを押します。

2 任意でコンピュータの説明を入力します。

メモ

・コンピュータの説明は、入力を省略してもかまいません。

3 ［次へ］ボタンを左クリックします。
XP Proモデルの方は　・・・・・ 4 へ進む
XP Homeモデルの方は　・・・・ 9 へ進む

4 「管理者パスワード」の欄に、任意のパスワードを入力します。

5 「パスワードの確認入力」の欄に、「管理者パスワード」と同じパスワードを入力します。

6 ［次へ］ボタンを左クリックします。

チェック

管理者パスワードとは

「管理者パスワード」とは、本機の設定を管理する人のためのパスワードです。ここで設定したパスワードは絶対忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまうとWindows XPの再セットアップ（リカバリ）が必要になります。（☞28～38ページ）

7 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」にチェックを入れます。

チェック

ドメインの登録

本機をクライアントサーバ型のネットワークに接続するには、ドメインの登録が必要です。ただし、ドメインの登録はセットアップ終了後に設定できますので、セットアップ中に設定する必要はありません。ドメインの登録に関する詳細は、市販のネットワークの専門書籍を参照してください。

なお、ご家庭などで通常に使用する場合は、ドメインの登録は必要ありません。

8 ［次へ］ボタンを左クリックします。

9 ［省略］ボタンを左クリックします。

メモ

・インターネットへの接続は、セットアップ終了後に設定することをお勧めします。

10 「いいえ、今回はユーザー登録しません」にチェックを入れます。

11 ［次へ］ボタンを左クリックします。

メモ

・オンライン登録は、セットアップ終了後に行うことをお勧めします。本書では、オンライン登録に必要な、インターネットの設定方法を説明していません。下の画面が表示されてしまった場合は、［戻る］ボタンを左クリックして前の画面に戻ってください。

ユーザーを登録する

本機を使用するユーザーのユーザー名(ユーザーアカウント)を入力します。

1 必要なユーザー数だけ、任意のユーザー名を入力します。

チェック

・ユーザーは最低1つ以上登録してください。
・複数のユーザーを登録する場合、ユーザー名が同じにならないようにしてください。

メモ

・セットアップ終了後でも、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」からユーザーを登録できます。

2 ［次へ］ボタンを左クリックします。

セットアップを完了する

いよいよセットアップの完了です。

1 ［完了］ボタンを左クリックします。

チェック

［スタート］ボタンを選択して表示される「本製品をご購入のお客様へ」を必ずお読みください。この中には、本機を使用される上で重要な情報が記述されています。
特に、Windowsを再セットアップする場合は、「本製品をご購入のお客様へ」に書かれているとおりにドライバソフトなどをインストールしてください。本機の性能を充分に発揮できないばかりか、一部の機能が動作しなくなる場合があります。

しばらくすると、Windows XPのデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

2 Windowsが起動したら、本機を一度再起動してからご使用ください。

電源のON/OFF

セットアップが終了したら、本機の電源をON/OFFする方法を覚えましょう。

電源のON

セットアップが終了すれば、次に電源をONにしたとき、そのままWindows XPのデスクトップ画面が表示されます。

1 電源スイッチを押します。

しばらくすると、Windows XPのデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

メモ

・複数のユーザーアカウントを登録しているときは、ユーザーアカウントを選択する画面が表示されます。使用したいユーザーアカウントを選択してください。

電源のOFF

電源のOFFは「スタート」メニューから操作します。

1 ［スタート］ボタン→［終了オプション］を選択します。

【コンピュータの電源を切る】ダイアログが表示されます。

注意

いきなり電源スイッチを押して電源をOFFにする動作を繰り返すと、Windows XPのシステムが壊れて、Windows XPの再セットアップが必要になることがあります。電源をOFFにするときは正しい手順で操作してください。

2 ［電源を切る］をクリックします。

しばらくすると、本機の電源がOFFになります。

3 必要に応じて周辺機器の電源をOFFにします。

再起動

デバイスドライバのインストールが終了したあとや、Windowsの動作が不安定（画面が乱れたり、画面が動かない）になったときは、Windowsを再起動しましょう。【コンピュータの電源を切る】ダイアログが表示された状態で、［再起動］をクリックすると、再起動が実行されます。

メモ

・アプリケーションソフトの操作中に、マウスカーソルが動かなくなってしまったときなど、操作が続けられないときは、Ctrl＋Alt＋Deleteキーを同時に押して、特定のアプリケーションソフトを終了させることができます。

ユーザーアカウントを切り替える

本機に複数のユーザーアカウントが登録されているとき、本機の電源をONにしたままで、ユーザーアカウントを切り替えることができます。ユーザーアカウントの切り替えは、2つの方法があります。

ログオフして切り替える

現在のユーザーアカウントが本機の使用を終了してから、別のユーザーアカウントが本機の使用を開始します。

［スタート］ボタン→［ログオフ］を選択します。

【Windowsのログオフ】ダイアログが表示されます。

2 ［ログオフ］をクリックします。

現在のユーザーアカウントが本機の使用を終了し、ユーザーアカウントを選択する画面が表示されます。

3 本機の使用を開始するユーザーアカウントを選択します。

しばらくすると、Windows XPのデスクトップ画面が表示されます。

※表示されるデスクトップ画面は、ご購入いただいたパソコンによって異なります。

メモ

・パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。
・パスワードが拒否された場合は、大文字と小文字を間違って入力していないか再度ご確認ください。Windows XPでは、Tarouとtarouは違う文字列として判別されます。

ログオフせずに切り替える

現在のユーザーアカウントが本機を使用したまま、別のユーザーも同時に本機の使用を開始します。

1 ［スタート］ボタン→［ログオフ］を選択します。

【Windowsのログオフ】ダイアログが表示されます。

2 ［ユーザーの切り替え］をクリックします。

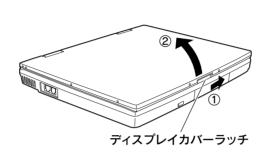
ユーザーアカウントを選択する画面が表示されます。

3 本機を使用を開始するユーザーアカウントを選択します。

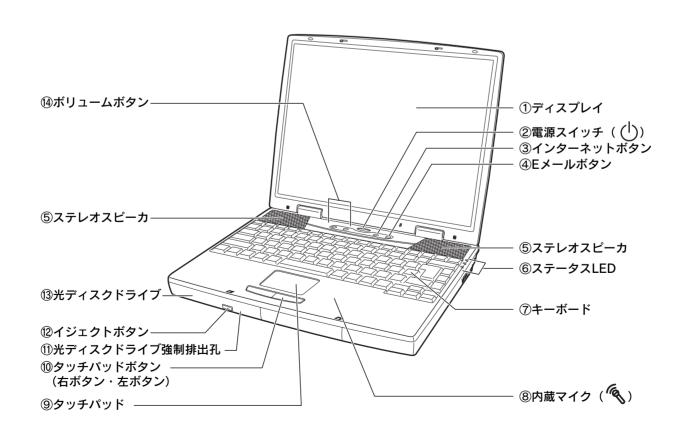
しばらくすると、Windows XPのデスクトップ画面が表示されます。

各部の名前と機能

本体各部の名前とその機能について説明しています。なお、別のページで詳しく説明している部分もありますので、参照ページもあわせてお読みください。

ディスプレイカバーの開け閉め

ディスプレイカバーを開けるときは、ディスプレイカバーラッチを矢印の方向へスライドして(①)、ロックを解除し、見やすい角度まで開きます(②)。

ディスプレイカバーを閉じるときは、ディスプレイカバーから「カチッ」と音がするまで手前に倒して、ディスプレイカバーラッチがロックするようにします。

本体前面

① **ディスプレイ**
文字やグラフィックが表示されます。
省電力機能によりパソコンが動作していなければ、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

② **電源スイッチ（⏻）**
電源OFF時に押すと、本機の電源をONします。
(☞16ページ)
電源ON時は青色に点灯します。
電源ON時に押すと、省電力機能で設定した動作を実行します。

注意
・HDD/CD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
・電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

③ **インターネットボタン**
ボタンを押すと、Internet Explorerが起動します。

④ **Eメールボタン**
ボタンを押すと、Outlook Expressが起動します。

⑤ **ステレオスピーカ**
Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が、ステレオで出力されます。

⑥ **ステータスLED**
パソコンの動作状態が表示されます。
(☞23ページ)

⑦ **キーボード**
キーを押して文字を入力したり、コマンド（命令）を送ったりします。

⑧ **内蔵マイク（🎤）**
音声を本機に取り込みます。

⑨ **タッチパッド**
指を軽くのせて動かすと、ディスプレイ上のマウスポインタが移動します。(☞39ページ)

⑩ **タッチパッドボタン（右ボタン・左ボタン）**
それぞれ、マウスの右ボタン、左ボタンに対応しています。(☞39ページ)

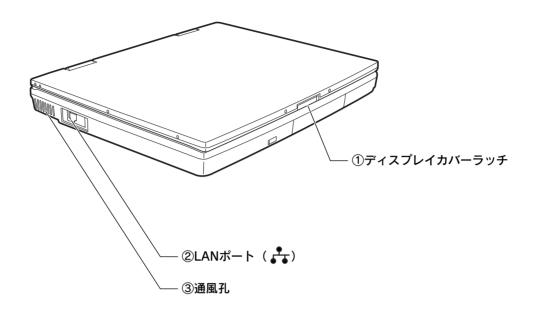
⑪ **光ディスクドライブ強制排出孔**
イジェクトボタンを押しても光ディスクドライブが出てこない場合に使用します。
この排出孔に針金などを押し込むと、光ディスクドライブを強制的に排出させることができます。

注意
光ディスクドライブが正常に動作している場合は使用しないでください。
頻繁に使用すると故障の原因となります。

⑫ **イジェクトボタン**
光ディスクドライブにディスクを入れるとき、または取り出すときに押すボタンです。

⑬ **光ディスクドライブ**
光ディスクドライブが読み込み可能なディスクを入れます。光ディスクドライブの仕様は、製品の構成によって異なります。

⑭ **ボリュームボタン**
ボタンを押すと、ステレオスピーカから出力される音量を調整できます。

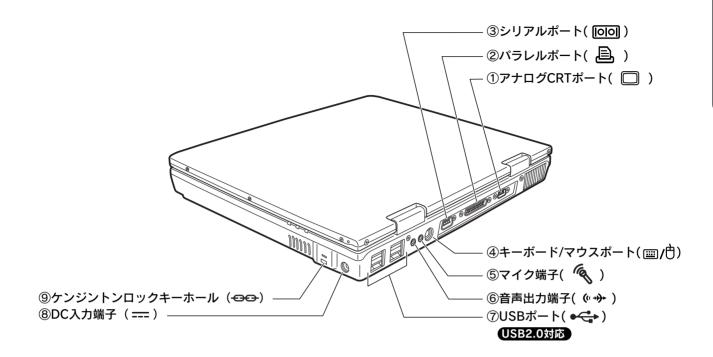
左側面

① **ディスプレイカバーラッチ**
スライドすると、ディスプレイカバーのロックを解除します。

② **LANポート（ ）**
10BASE-T/100BASE-TXのLAN接続ができます。

注 意

本機のLANポートに接続できるケーブルは10BASE-T/100BASE-TX規格のイーサネットケーブルだけです。それ以外の規格のケーブルは使用しないでください。特にISDNケーブル、モジュラーケーブルは、絶対にLANポートへ接続しないでください。故障の原因となります。

③ **通風孔**
パソコン内部の空気を換気します。

右側面＆背面

① **アナログCRTポート（ ）**
外部ディスプレイを接続します。

② **パラレルポート（ ）**
プリンタなど、パラレルポートを使う周辺機器を接続します。

③ **シリアルポート（ ）**
モデムなどシリアルポートを使う周辺機器を接続します。

④ **キーボード/マウスポート（ / ）**
PS2対応のキーボードまたはマウスを接続します。

⑤ **マイク端子（ ）**
マイクロホンを接続します。マイクロホンからの音声を本機に取り込みます。

⑥ **音声出力端子（ ）**
音声入力端子を持つオーディオ機器を接続します。

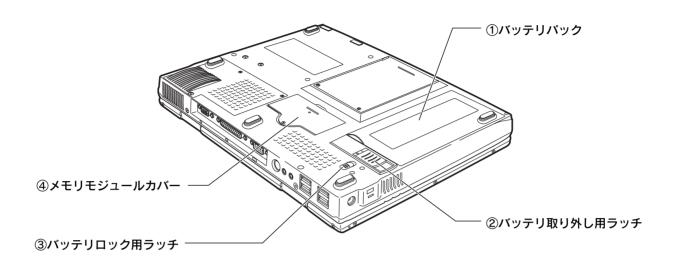
⑦ **USBポート（ ）** USB2.0対応
USB2.0対応の周辺機器を接続します。USB1.1対応の周辺機器も接続できます。ただし、転送速度などはUSB1.1規格（Full-Speed）に基づきます。

⑧ **DC入力端子（ ）**
付属のACアダプタを接続します。（☞24ページ）

注　意

・付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。
火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプタの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。
ACアダプタが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

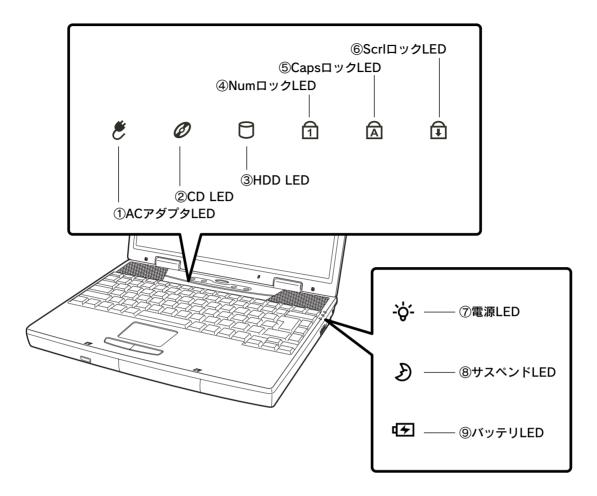
⑨ **ケンジントンロックキーホール（ ）**
盗難防止用のロックに使用する取り付け穴です。

▼底　面

① バッテリパック
電源コンセントが無い場所でパソコンを動作させるためのバッテリです。(☞27ページ)

② バッテリ取り外し用ラッチ
バッテリパックを取り外すときに、スライドさせながら取り外します。(☞27ページ)

③メモリモジュールカバー
カバーの下にメモリが取り付けられています。メモリを交換・増設する場合は、カバーを取り外してください。

④ バッテリロック用ラッチ
バッテリパックをロックします。

ステータスLEDについて

① ACアダプタLED（ ）
ACアダプタの接続中に点灯します。

② CD LED（ ）
光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

③ HDD（エイチディーディー） LED（ ）
ハードディスクドライブまたは光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

注　意

- HDD LEDまたはCD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。
  ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
- 電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

④ Num（ニューメリック）ロックLED（ ）
NumLkキーがロック状態のときに点灯します。

⑤ Caps（キャップス）ロックLED（ ）
CapsLockキーがロック状態のときに点灯します。
ロック状態時は、Shiftキーを押さずアルファベットを大文字で入力できます。

⑥ Scrl（スクロール）ロックLED（ ）
ScrollLockキーがロック状態ロック状態のときに点灯します。
ロック状態時の機能は、使用するアプリケーションソフトによって異なります。

⑦ 電源LED（ ）
本機の電源がONのときに点灯します。

⑧ サスペンドLED（ ）
本機の省電力状態を表示します。（☞25ページ）

⑨ バッテリLED（ ）
バッテリの充電状態を表示します。（☞25ページ）

ACアダプタの接続とバッテリの充電

本機の電源は、付属のACアダプタを使ってACコンセントからとる方法と、バッテリパックを使う方法の2通りあります。

初めて使うときは

バッテリは十分に充電されていない状態で出荷されています。本機を初めてお使いになるときは、バッテリパックを本機に取り付けてから、ACアダプタを接続してください。バッテリパックの充電が始まります。

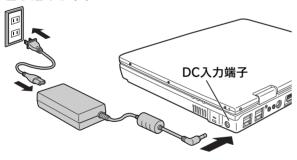
警告

・弊社純正のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
・ACアダプタの上に物をのせたり、くるんだりしないでください。ACアダプタが発熱し、火災を起こす恐れがあります。

メモ

・バッテリパックの充電中も本製品を使用できます。

■ACアダプタの接続とバッテリの充電

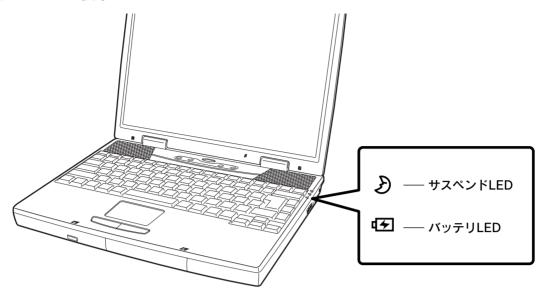
1 ACアダプタのプラグを、本機のDC入力端子に差し込みます。

2 電源ケーブルをACアダプタと電源コンセントに接続します。

バッテリLED（）が緑色に点灯し、バッテリパックの充電が始まります。

メモ

・本製品に付属のACアダプタは、100V～240Vに対応しており、自動的に切り替わりますので、海外でも使用できます。
ただし、海外の電源コンセントは、日本と形状が異なる場合がありますので注意してください。

バッテリのみで使用するときは、ACアダプタを取り外してください。
AC電源で使用するときは、このままACアダプタを接続してください。

ステータスLEDの表示

サスペンドLED( )

状　態	内　容
点灯（緑）	本機の省電力機能がONの状態です。

バッテリLED( )

状　態	内　容
消灯	バッテリが満充電の状態です。
点灯（緑）	バッテリが充電中の状態です。

・バッテリパックは、バッテリ動作中に交換することはできません。
必ず「バッテリパックの交換」（☞27ページ）の説明に従って交換してください。
・バッテリの残量が少ない状態でアプリケーションの操作を続けると、データやプログラムファイルが消えるなどの不具合が発生する恐れがあります。
バッテリの残量がすべて無くなると、アプリケーションの使用中でも電源がOFFになります。バッテリの警告音が鳴ったらすぐにデータを保存してください。

スタンバイと休止状態の違い

・スタンバイ

アプリケーションソフトなどの動作状態をメモリに保存し、パソコンの電源をOFFにする機能です。
次回、電源をONにすると、電源をOFFにする直前の状態でパソコンが起動します。
使用中のアプリケーションソフトを終了せずに電源をOFFにできるので、アプリケーションソフトを再起動する必要がありません。
ただし、スタンバイの状態では、少量の電力が消費されているため、バッテリだけで使用しているときに、長時間スタンバイの状態にしておくことはお勧めできません。

・休止状態

電源をOFFにする直前の状態で起動させる機能です。
動作状態をメモリではなく固定ディスクに保存するため、電力を消費しません。
スタンバイと休止状態の設定方法は、「SOTEC電子マニュアル」の「ユーザーズガイド応用編」の「省電力機能」を参照してください。

▼バッテリの残量警告と終了動作の設定

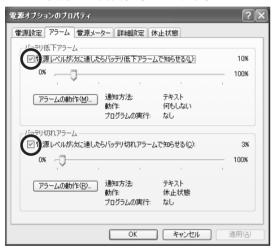
バッテリ残量が少なくなってきたことを知らせる警告音と、バッテリ残量が無くなったときにパソコンをどのような状態で電源をOFFにするかを設定できます。

［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［電源オプション］を選択します。

【電源オプションのプロパティ】ダイアログが表示されます。

［アラーム］タブを選択します。

チェックを入れます。

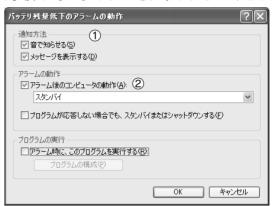
バッテリ残量が警告表示されます。

4 ［アラームの動作］ボタンをクリックします。

警告表示後のパソコンの動作を設定できます。

メモ

・バッテリ残量がほとんど無い状態になると、スピーカの設定に関わらず、警告音（ビープ音）が鳴ります。Fn+F2キーを押すと、警告音が鳴り止みます。

■警告表示後の動作設定

設定完了後は［OK］ボタンをクリックしてください。

① 通知方法

警告の通知方法を選択します。

メモ

・両方を選択することもできます。

② アラーム後のコンピュータの動作

警告通知後の本機の動作状態を選択します。

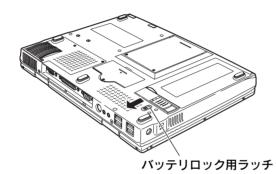
バッテリパックの交換

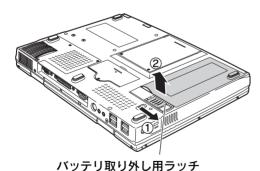
バッテリパックは、電源がOFFの状態で交換します。交換前に、バッテリLEDが消灯していることを確かめてください。

注意

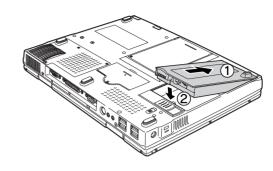
- 弊社純正のバッテリパック以外のバッテリは絶対に使用しないでください。また、バッテリパックの分解や破壊、火中への投入、加熱、端子の短絡なども絶対に行わないでください。爆発や火災を起こす恐れがあります。
- バッテリパックの取り扱いについては「安全上のご注意」(☞4～5ページ)も必ずお読みください。

1 ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返して、静かに置きます。

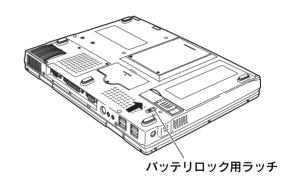
2 バッテリロック用ラッチを矢印の方向へスライドさせます。

バッテリロック用ラッチ

3 バッテリ取り外し用ラッチを矢印の方向にスライドさせながら(①)、バッテリパックを取り外します(②)。

バッテリ取り外し用ラッチ

4 バッテリパックを矢印の方向へ差し込んで(①)、本体に取り付けます(②)。

メモ

- バッテリ取り外し用ラッチがロックされるまで、確実にはめ込んでください。

5 バッテリロック用ラッチを矢印の方向へスライドさせます。

バッテリロック用ラッチ

リカバリの準備をする

使用していたデータや設定内容をバックアップして、リカバリ後に同じ環境で使えるようにします。

ファイルのバックアップ

リカバリを実行すると、ご購入後にお客様が作成・追加したデータはすべて消去され、製品出荷時の状態に戻ります。お客様が作成・追加したデータは、外部記憶メディア（フロッピーディスク、USBメモリ、CD-R/RWなど）に保存してください。

『お気に入り』のバックアップ

Internet Explorerの『お気に入り』は、「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」フォルダ内に格納されています（＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります）。次の手順でバックアップを作成してください。

1 **［スタート］ボタン→［ファイル名を指定して実行］を選択します。**
【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2 **「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」を入力し、［OK］ボタンをクリックします（＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります）。**

3 **【お気に入り】ウィンドウ内にある、すべてのフォルダとファイルを、外部記憶メディアに保存します。**
以上で『お気に入り』のバックアップ作成は完了です。

Outlook Express 6のバックアップ

Outlook Express 6のバックアップは、メールアカウント、メッセージ、アドレス帳に分けて行います。

メモ

・複数のユーザーでOutlook Express 6を使用している場合は、バックアップを作成したいユーザーのアカウントを選択（ログイン）します。

メールアカウントのバックアップ

メールアカウントのバックアップは、次の手順で作成してください。

1 **Outlook Express 6が起動した状態で、［ツール］メニューより［アカウント］を選択します。**
【インターネットアカウント】ダイアログが表示されます。

2 **［メール］タブをクリックし、表示されるアカウントの一覧からバックアップを作成したいアカウントを選択し、［エクスポート］ボタンをクリックします。**
【インターネットアカウントのエクスポート】ダイアログが表示されます。

3 **任意のファイル名と保存場所を設定して、［保存］ボタンをクリックします。**
【インターネットアカウント】ダイアログに戻ります。
以上でメールアカウントのバックアップ作成は完了です。

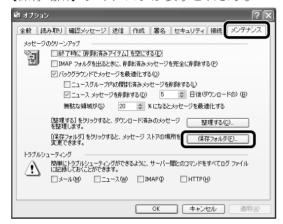
メッセージのバックアップ

メッセージのバックアップは、次の手順で作成してください。

1 **Outlook Express 6が起動した状態で、[ツール] メニューより [オプション] を選択します。**

【オプション】ダイアログが表示されます。

2 **[メンテナンス] タブをクリックし、[保存フォルダ] ボタンをクリックします。**

【保存場所】ダイアログが表示されます。

3 **【保存場所】画面に表示されている保存場所のアドレスをメモします。**

4 **[スタート] ボタン→ [ファイル名を指定して実行] を選択します。**

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

5 **手順3でメモした内容を入力し、[OK] ボタンをクリックします。**

画面が表示されます。

6 **表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルをすべて、外部記憶メディアに保存します。**

以上でメッセージのバックアップ作成は完了です。

注　意

拡張子が「＊.dbx」のファイルは、必ずすべてを保存してください。一部だけ保存すると、メッセージのバックアップを元に戻せなくなります。

アドレス帳のバックアップ

アドレス帳のバックアップは、次の手順で作成してください。

1 **アドレス帳が起動した状態で、[ファイル] → [エクスポート] → [アドレス帳] の順に選択します。**

【エクスポートするアドレス帳ファイルの選択】ダイアログが表示されます。

2 **任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、[保存] ボタンをクリックします。**

保存が完了したことを知らせるダイアログが表示されます。

3 **[OK] ボタンをクリックします。**

以上でアドレス帳のバックアップ作成は完了です。

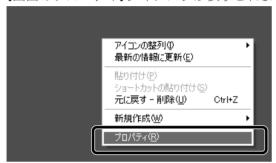
リカバリ

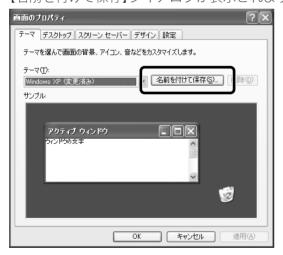
デスクトップ画面設定のバックアップ

現在使用しているデスクトップ画面の設定は、次の手順でバックアップを作成してください。

チェック お客様が作成した画像を壁紙に使用している場合は、別途画像ファイルのバックアップを取ってください。

1 デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［プロパティ］を選択します。

【画面のプロパティ】ダイアログが表示されます。

2 ［名前を付けて保存］ボタンをクリックします。

【名前を付けて保存】ダイアログが表示されます。

3 任意のファイル名と外部記憶メディアの保存場所を設定して、［保存］ボタンをクリックします。

以上でデスクトップ画面設定のバックアップ作成は完了です。

ユーザー辞書のバックアップ

現在使用しているユーザー辞書は、次の手順でバックアップを作成してください。

1 ［スタート］ボタン→［ファイル名を指定して実行］の順に選択します。

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2 ［C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Application Data¥Microsoft¥IMJP8_1］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

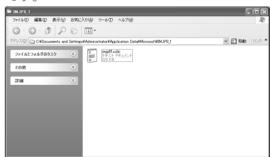
（＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります）

【IMJP8_1】ウィンドウが表示されます。

メモ

・ユーザー辞書をほかの任意のフォルダへ保存している場合は、任意のフォルダを開きます。

3 ［imjp81u］ファイルを、異なる任意のファイル名で外部記憶メディアに保存します。

以上でユーザー辞書のバックアップ作成は完了です。

メモ

・ファイル名は必ず変更してください。

リカバリを実行する

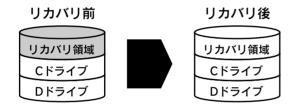
リカバリを実行すると、工場出荷時の状態に戻ります。

復旧方法を選ぶ

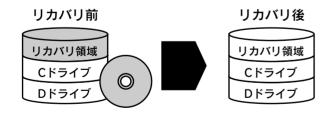
お客様にとって最適な復旧方法を、次の2つの中から選んでください。

（1）ハードディスクを使った復旧（☞右段）

ハードディスク内にあるリカバリ領域を使用してリカバリします。

- 短時間でリカバリできる
- リカバリCD・緊急復旧CDが不要
- ハードディスクの起動部分が壊れている場合はリカバリを実行できない

（2）ハードディスクと緊急復旧CDを使った復旧（☞34ページ）

ハードディスク内にあるリカバリ領域と、本製品に付属している緊急復旧CDを併用してリカバリします。

- 短時間でリカバリできる
- ハードディスクの起動部分が壊れている場合でもリカバリを実行できる

ハードディスクを使って復旧する

通常の方法で復旧する

購入時の状態にリカバリする方法です。

チェック

この方法でリカバリした場合、リカバリ後はCドライブのデータが消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップを作成しましょう。

1 **パソコンを再起動して、SOTECロゴが入った画面が表示されたら、F5キーを押します。**

【Windows拡張オプションメニュー】画面が表示されます。

メモ

・Windowsが起動してしまった場合、再度上記手順をおこなってください。

チェック

BIOSの設定を変更した場合、リカバリが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷の状態に戻してからリカバリを実行してください。

2 **Escキーを押します。**

【オペレーティングシステムの選択】画面が表示されます。

3 **↓キーを押して［Harddisk Recovery］を選択して、Enterキーを押します。**

【ハードディスクの復元について】画面が表示されます。

[Y]キーを押します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

ハードディスクの復元について

HD リカバリを使用してハードディスクの内容をリカバリしますと、
お客様が本製品をセットアップする前の状態になります。
（一部インストールされないアプリケーションがある場合があります）

また、復元時には、お客様がご購入後にインストールされましたアプリケーションやハードディスクに保管されているデータ等はすべて消えてしまいますので、お手数ですが各種データは事前にバックアップ作業を行った後ハードディスクの復元を行う事をお勧めします。

復元を行う場合は ………………………… ［Ｙ］キーを押してください

データを保存する為、中断する場合は ………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

[1]キーを押します。

【復元の開始（一般）】画面が表示されます。

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… ［１］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Ｃドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［２］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を１つにして
復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

[Ctrl]＋[S]キーを押します。

リカバリが始まります。

復元の開始（一般）

この方法では、複数のパーティションが存在するハードディスクの
Ｃドライブにリカバリを行います。

注意！
リカバリの操作を開始すると、Ｃドライブの内容は消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

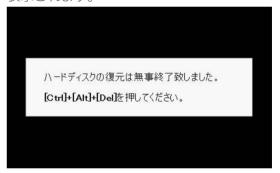
→ リカバリを開始する場合 ………… ［Ctrl］キーを押しながら
［Ｓ］キーを押してください

← リカバリを中止する場合 ………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

リカバリが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーを押します。

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。「Windows XPのセットアップ」（☞11ページ）を参照して、セットアップを完了させてください。

高度な方法で復旧する

購入時と異なるハードディスクのドライブ構成で、リカバリする方法を説明します。

この方法でリカバリした場合、リカバリ後はハードディスクのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップを作成しましょう。

31～32ページの手順1～4までを実行します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

[2]キーを押します。

【復元方法の選択（2)】画面が表示されます。

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1. 一般的な方法で復元を行う場合 …………………… [1] キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2. 高度なオプションを選択して復元を行う場合 …[2] キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を１つにして
復元を行います。(すべての内容が消去されます)

← 復元を中止する場合 ………………………… [N] キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

復元のオプションを選択します。

復元方法の選択（2）

復元のオプションを選択してください。
注意！重要なデータは作業を行う前にバックアップを行ってください。

1. 8GBをCドライブ、
残りをDドライブに使用する場合 ……… [1] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

2. 全体の半分をCドライブ、
残りをDドライブに使用する場合 ……… [2] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

3. 全体をCドライブとして使用する場合 … [3] キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは1つになります。

← 戻る ………………………………………… [N] キーを押してください

SOTEC

8GBをCドライブ、残りをDドライブで構成する場合：
[1]キーを押します。
CドライブとDドライブを同じ容量で構成する場合：
[2]キーを押します。
Cドライブだけで構成する場合：
[3]キーを押します。

メモ

・前のメニューに戻る場合は、[N]キーを押します。

4 32ページの手順6～7を実行します。

リカバリ

ハードディスクと緊急復旧CDを使って復旧する

1　緊急復旧CDを光ディスクドライブに入れます。

2　本機を再起動します。

「再起動」（☞16ページ）
しばらくすると【ハードディスクの復元について】画面が表示されます。

3　[Y]キーを押します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

ハードディスクの復元について

HD リカバリを使用してハードディスクの内容をリカバリしますと、
お客様が本製品をセットアップする前の状態になります。
（一部インストールされないアプリケーションがある場合があります）

また、復元時には、お客様がご購入後にインストールされましたアプリケーションやハードディスクに保管されているデータ等はすべて消えてしまいますので、お手数ですが各種データは事前にバックアップ作業を行った後ハードディスクの復元を行う事をお勧めします。

復元を行う場合は ………………… ［Ｙ］キーを押してください

データを保存する為、中断する場合は ……… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

4　[1]キーを押します。

【復元の開始（一般）】画面が表示されます。

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 ………………… ［１］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Ｃドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［２］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を１つにして復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 ………………………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

5　[Ctrl]＋[S]キーを押します。

リカバリが始まります。

復元の開始（一般）

この方法では、複数のパーティションが存在するハードディスクの
Ｃドライブにリカバリを行います。

注意！
リカバリの操作を開始すると、Ｃドライブの内容は消去されます。
一度消去されたデータを元に戻すことはできません。
実行中に電源を切ったり、リセットしたりしないでください。

→ リカバリを開始する場合 ………… ［Ctrl］キーを押しながら［S］キーを押してください

← リカバリを中止する場合 ………… ［Ｎ］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合は[N]キーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを同時に押して、パソコンを再起動します。

リカバリが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

ハードディスクの復元は無事終了致しました。
[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押してください。

6　[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キーを押します。

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。「Windows XPのセットアップ」（☞11ページ）を参照して、セットアップを完了させてください。

■高度な方法で復旧する

購入時と異なるハードディスクのドライブ構成で、リカバリする方法を説明します。

チェック

この方法でリカバリした場合、リカバリ後はハードディスクのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップを作成しましょう。

34ページの手順1～3までを実行します。

【復元方法の選択】画面が表示されます。

2キーを押します。

【復元方法の選択（2)】画面が表示されます。

復元方法の選択

ハードディスクの復元方法を選択してください。

1．一般的な方法で復元を行う場合 …………………［1］キーを押してください
通常は、この方法を選択してください。Cドライブのみ復元を行います。

2．高度なオプションを選択して復元を行う場合 …［2］キーを押してください
ハードディスクを分割しての復元や、ハードディスク全体を1つにして
復元を行います。（すべての内容が消去されます）

← 復元を中止する場合 …………………………［N］キーを押してください

SOTEC

メモ

・リカバリを中止する場合はNキーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、Ctrl+Alt+Deleteキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

復元のオプションを選択します。

復元方法の選択（2）

復元のオプションを選択してください。
注意！重要なデータは作業を行う前にバックアップを行ってください。

1．8GBをCドライブ、
残りをDドライブに使用する場合 ………［1］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

2．全体の半分をCドライブ、
残りをDドライブに使用する場合 ………［2］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは2分割されます。

3．全体をCドライブとして使用する場合 …［3］キーを押してください
ハードディスクの内容すべてが消去され、パーティションは1つになります。

← 戻る ……………………………………………［N］キーを押してください

SOTEC

8GBをCドライブ、残りをDドライブで構成する場合：
1キーを押します。
CドライブとDドライブを同じ容量で構成する場合：
2キーを押します。
Cドライブだけで構成する場合：
3キーを押します。

メモ

・前のメニューに戻る場合は、Nキーを押します。

34ページの手順5～6を実行します。

パソコンの環境を元に戻す

リカバリ終了後、パソコンの環境をリカバリ前に使用していた状態に戻します。

アプリケーションソフトの設定

製品購入後にインストールしたアプリケーションソフトは、別途インストールする必要があります。

バックアップしたファイルを元に戻す

28ページでバックアップをとったデータを元に戻します。外部記録メディアにバックアップをとったデータは、バックアップ前と同じ場所に戻してください。

『お気に入り』を元に戻す

Internet Explorerの『お気に入り』のバックアップは、次の手順で元に戻してください。

1 ［スタート］ボタン→［ファイル名を指定して実行］を選択します。

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2 「C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Favorites」を入力し（＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります）、［OK］ボタンをクリックします。

【お気に入り】ウィンドウが表示されます。

3 外部記憶メディアからバックアップをとったフォルダやファイルを、【お気に入り】ウィンドウ内へコピーします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

Outlook Express 6を元に戻す

メールアカウント、メッセージ、アドレス帳のバックアップを元に戻します。

■メールアカウントのバックアップを読み込む

メールアカウントのバックアップは、次の手順で元に戻してください。

1 Outlook Expressを起動した状態で、［ツール］メニューから［アカウント］を選択します。

【インターネットアカウント】ダイアログが表示されます。

2 ［インポート］ボタンをクリックします。

【インターネットアカウントのインポート】ダイアログが表示されます。

3 バックアップをとったiafファイルを選択してから、［開く］ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

■メッセージのバックアップを読み込む

メッセージのバックアップは、次の手順で元に戻してください。

1 Outlook Express 6を起動した状態で、［ファイル］メニューから［インポート］→［メッセージ］の順に選択します。

【Outlook Express インポート】ダイアログが表示されます。

2 一覧から、[Microsoft Outlook Express 6]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

【Outlook Express 6からインポート】ダイアログが表示されます。

3 「Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする」にチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。

4 [参照]ボタンをクリックして、バックアップをとったデータの場所を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

チェック

バックアップをCD-Rなど、読み取り専用のメディアから行うと、エラーが発生する場合があります。そのため、あらかじめハードディスクにコピーしておき、コピーしたファイルからインポートを行うようにしてください。

5 「すべてのフォルダ」をチェックするか、「選択されたフォルダ」をチェックしてから、読み込ませたいフォルダを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

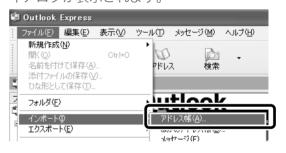
6 [完了]ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

アドレス帳のバックアップを元に戻す

アドレス帳のバックアップは、次の手順で元に戻してください。

1 Outlook Express 6を起動した状態で、[ファイル]メニューから[インポート]→[アドレス帳]の順に選択します。

【インポートするアドレス帳ファイルの選択】ダイアログが表示されます。

2 バックアップをとったアドレス帳ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

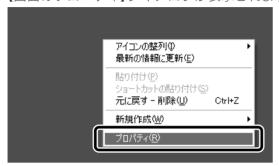
以上でバックアップの読み込みは完了です。

リカバリ

デスクトップの画面設定を元に戻す

デスクトップ画面設定のバックアップは、次の手順で元に戻してください。

1 デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、［プロパティ］を選択します。

【画面のプロパティ】ダイアログが表示されます。

2 ［テーマ］の をクリックして、表示される一覧から［参照］を選択します。

【テーマを開く】ダイアログが表示されます。

3 バックアップをとったデスクトップの画面設定ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

ユーザー辞書を元に戻す

ユーザー辞書のバックアップは、次の手順で元に戻してください。

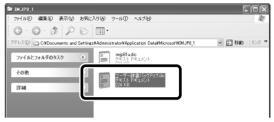
1 ［スタート］ボタン→［ファイル名を指定して実行］の順に選択します。

【ファイル名を指定して実行】ダイアログが表示されます。

2 ［C:¥Documents and Settings¥＊＊＊＊¥Application Data¥Microsoft¥IMJP8_1］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

（＊＊＊＊にはWindows XPのユーザーアカウント名が入ります）

【IMJP8_1】ウィンドウが表示されます。

3 バックアップをとったユーザー辞書ファイルを、【IMJP8_1】ウィンドウ内に移動します。

4 IME2002のツールバーから をクリックして、表示されるメニューから［プロパティ］を選択します。

【Microsoft IME スタンダードのプロパティ】ダイアログが表示されます。

5 ［参照］ボタンをクリックします。

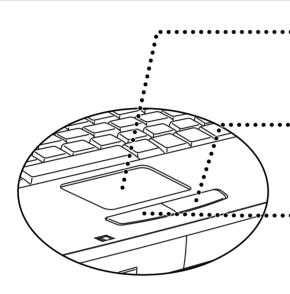
【ユーザー辞書の設定】ダイアログが表示されます。

6 バックアップをとったユーザー辞書ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

以上でバックアップの読み込みは完了です。

タッチパッドの使いかた

本機では、文字の入力以外、ほとんどの操作をタッチパッドで行います。ここでは、タッチパッドの基本操作を説明します。

タッチパッドの名前とはたらき

タッチパッド
指を触れて動かすと、画面上のマウスポインタがその動きに応じて動きます。指で軽く"トン"と1回たたくと左クリック、"トントン"とたたくとダブルクリックがボタンを使わずにできます。

右ボタン
右クリックするときに押します。
Windowsでは、右クリックするとショートカットメニューが表示されます。

左ボタン
左クリックするときに押します。ダブルクリックするときは、このボタンを素早く2回押します。

注　意

・タッチパッドをペン先などの先の尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。故障の原因となります。
・2本以上の指や手袋をした指、また、濡れた指などで操作しないでください。正常に動作しません。また、指先の皮脂や汚れによっても正常に動作しない場合があります。そのときは、十分に汚れを取り除いてからご使用ください。
・マウスポインタはタッチパッドを軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を傷める原因となります。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

▼本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

■事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

ソーテックは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。
本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業を行う者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。
事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、リサイクル専用コールセンタにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンタへ運搬。
4. リサイクルセンタ及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、下記の電話番号にてご案内しております。

リサイクル専用コールセンタ

TEL　03-5493-3756

9:00～17:00(月～金)
(弊社指定休業日はお休みさせていただきます)

この電話番号は、リサイクル専用です。
製品に関するサポートには対応しておりません。

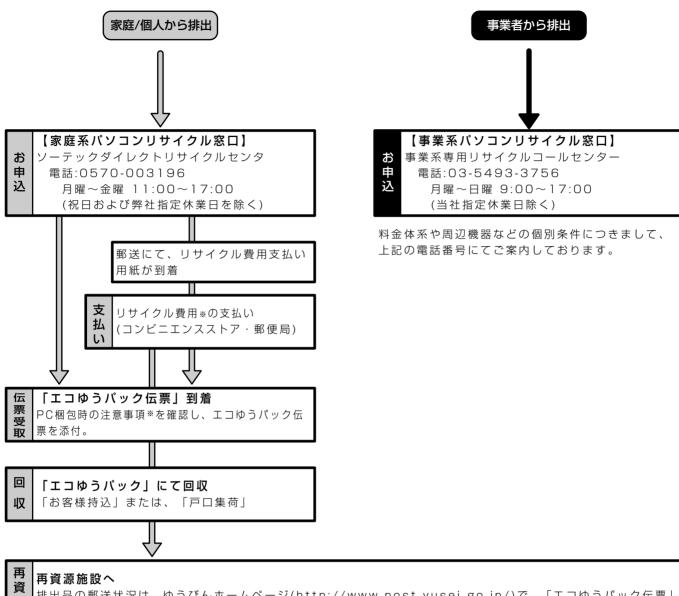
■家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵政公社と提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「家庭系パソコンの再資源化料金」(☞41ページ)をご参照ください。

メモ

- パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。
  http://www.sotec.co.jp/recycle/index.html
- 同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://www.sotec.co.jp/direct/guide/used/index.html)で、お使いのパソコンの買取り査定を行ったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

回収の仕組み

家庭系パソコンの再資源化料金

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

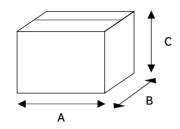
回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア:¥63、郵便局:¥60)が発生します。予めご了承ください。

■PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で構いません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです

・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ=1.7m以内

＜条件を満たさない場合＞

梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、ソーテックダイレクトリサイクルセンタ(☞41ページ)受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

○	マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、購入時に同梱されていた標準添付品
×	プリンタなどの周辺機器、取扱説明書/マニュアル、フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体

■回収時の条件(回収規約)

ソーテック製パーソナルコンピュータまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.sotec.co.jp/recycle/images/20031001.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

■ソーテックダイレクトリサイクルセンタ窓口

【ソーテックダイレクトリサイクルセンタ】

電話：0570-003196
月曜〜金曜11:00〜17:00
(祝日および弊社指定休業日を除く)

市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピュータの製造等の事業を行う者の使用済パーソナルコンピュータの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】

市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピュータの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- ●市町村は弊社へ回収の申込みを行います。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピュータを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。

※回収再資源化料金については、「家庭系パソコンの再資源化料金」(☞41ページ)をご確認ください。

廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に

- ・データを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作を行う
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・付属のリカバリCDを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザが破棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows XP以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

WinBook WDシリーズ
2006年4月 第2版

マニュアルの読みかた

本で読むマニュアル

セットアップガイド

まず、これを読もう！

本製品のセットアップおよびリカバリ方法を説明しています。

電子マニュアル（画面で見るマニュアル）

ユーザーズガイド
（PDFファイル）

本製品の使いかた

本製品を使用するための基本的な操作方法や、接続できるさまざまな周辺機器を説明しています。また、使用中のトラブルの解決方法や予防方法を説明しています。
※ソーテックオンラインサポート（http://www.sotec.co.jp/support/）からダウンロードしてください。

デスクトップ画面上の
アイコンをダブルクリック

SOTECパソコンを使いこなそう！

SOTEC電子マニュアル

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows XPやインターネットの便利な使いかたを、図解つきでわかりやすく説明しています。本機の楽しみ方を探したいときなどに、ご参照ください。また、トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

SOTEC

EN5339B